

平成20年度弁理士試験論文式筆記試験問題

[土質工学]

1. 土壌・地下水汚染の対策技術として用いられる以下の処理工法の概要と具体例を簡潔に説明せよ。

【30点】

- (1) 封じ込め処理
- (2) 原位置処理
- (3) 掘削・揚水処理

2. 砂質土を材料として盛土を築造する場合を想定する。下図に示すような補強を実施した際の盛土内のAの位置において、すべり面に沿う破壊を補強材が抑制するメカニズムを簡潔に説明せよ。ただし、補強材の曲げ・せん断剛性は無視できるほど小さいものとする。

【20点】

